

おわりに

本研究では、道内の合板工場と集成材工場が連携して、従来のLVLとは異なる製造方法を確立しながら、新しい土台用構造材「単板集成材（LVG：Laminated Veneer Glulam）」を開発しました。また、カラマツLVGの量産システムと最適な製造条件の確立、土台として重要なめり込み特性に優れた構造材料のデータ整備が実現しました。

現在、それらの成果をもとに、建築基準法の構造材料認定の取得に向けて、申請作業を進めております。

新しい構造材料としての実用化は、認定取得後になりますが、関係者とともに積極的に普及展開を進めてまいります。

信頼性・耐久性・強度性能の高い道産カラマツLVGが普及することで、木造建築物の性能向上、道産材の利用拡大、森林整備の推進、地域経済の活性化につながれば幸いです。

